

第1学年 生活科学習指導案

令和2年9月14日(月) 5校時
学年組 児童数 第1学年1組35名
指導者

1 単元名 あおぞらランド ~なつが やってきた~

2 単元の目標

夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとすることができるようにする。

3 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評価 規準	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。

4 指導観

(1) 単元観

第1学年 生活科の内容

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

本単元は、生活科の内容(5)及び(6)を受けて設定した。児童に遊びを創り出す楽しさや友達とのかかわりをもって遊ぶことの楽しさを味わわせることをねらいとした単元である。活動を通して、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、友達と作ったおもちゃを紹介し合ったり、実際に遊んだりするなかで、友達とのかかわりを深めたり広げたりすることもできると考える。

身近な自然としては、夏の季節に最もふさわしい水を取り上げる。水を使った遊びに限定す

ることで、児童が追及する要素が絞られ、気付きの共有化が図りやすいと考える。また、思いや願いを実現しようと試行錯誤する経験は、今後の単元「たのしい あき いっぱい」で、おもちゃづくりに取り組む際に生かされるようにする。そこでは、より試行錯誤したり、友達と助言し合ったりすることで、おもちゃを使って子供祭りへお店を出すことや、幼稚園児・保育園児と交流することへ繋げていきたい。

(2) 児童観

今年度は、休校期間が2カ月続き、入学当初に予定されていたスタートカリキュラムや学校探検を始め、各教科や生活指導の時間を十分に取れていない。また、学校が始まって2週間は分散登校を続け、学級全員が揃ってからまだ2カ月ほどしか経っていない。さらに、感染予防の観点から、遊ぶ場を全校児童で振り分けているため、外遊びのできる日は週に1～2回と限られている。そのため、本学級の児童は、自然や友達との関わりがあまりもてていない状態で、読書やお絵かき、粘土などを使って遊んでいることが多い。

一方で、学習全般への意欲は高く、生活科ではアサガオの観察や水やりを熱心に行っている。また、学校再開後に手伝ってもらった6年生にお礼をしたいとアイデアを出し合う姿もあった。係活動として、生き物係が持ってきた昆虫を皆で観察するなど、人や生き物への興味は十分あるが、実際に自分から関わりをもとうとすることはまだまだ少ない。

そこで、身近にある物を使っておもちゃを作り、自然を生かした夏の水遊びや友達と関わるなかで、自分の生活をより豊かにできる児童へ育てていきたいと考えた。

5 研究主題との関連

(1) 低学年分科会が考える深い学び

生活経験と新しい知識をつなげて自分の考えをもち、互いの考えを比べ合ったり、認め合ったりして、よりよい(自分の思いを実現する)考えをもつことができる姿。

(2) 本單元における深い学びの姿

- ① 夏の暮らしや夏の遊び、晴れの日や雨の日の様子の違いなど、これまでの生活経験を友達に話し、自分が考えた遊びや工夫したこと、遊びの楽しさなどを伝え合い、交流(表現する)ことができる姿。
- ② 友達と伝え合い、交流したことを参考にして、友達のおもちゃや遊び方のよさに気づき、みんなと楽しみながら遊ぼうとする姿。

(3) 深い学びに迫るための具体的な手立て

① 単元構成の工夫

・年間を通じた場の設定

夏、秋、冬と季節に応じて、自然を感じられるものと触れ合う場を設定する。年間を通して季節を感じる遊びの場を「あおぞらランド」と位置付ける。児童から「～がしたい」「次はこんなことをしてみたい」という思いを引き出し、児童が主体的に活動できるように材料や道具を置いて、考えたことやものを実現できるようにする。

・ 試行錯誤や繰り返す活動の場の設定

より楽しく遊べるおもちゃを作るために、試す、見通す、工夫する場を設定する。水に浮かせる、移動させる、水を遠くまで飛ばす、的にあてる、シャボン玉を大きく作る、などの方法に気付けるようにする。

・ 単元計画の掲示

学習の活動を見通しをもって主体的に取り組み、どの部分にいるのかを視覚的にわかるように、計画表を掲示しておく。

② 対話の工夫

・ 気付きの全体共有

活動していて気付いたことや友達のおもちゃのよさを全体共有する。

・ 話型の提示

国語科「話す・聞く」の学習を活用し、話型を提示しておく。自分の考えを伝えるときに、話型を用いて話せるようにする。

③ 思考ツールの活用

・ イメージマップ図

身近な自然や季節に興味・感心をもてるようにするために、イメージマップ図を作る。季節や遊びから連想することをたくさん挙げさせ、自然と関わりたい、遊びたい、作ってみたいという思いを引き出させるとともに、これまでの成長過程において自然に触れあった体験や季節に応じた生活の工夫などを想起させる。

④ リフレクションの活用

自分の活動や体験したことを言葉や絵にして振り返ることで、無自覚だった気付きが自分の中で明確になる。また、自分や友達の気付きを共有し関連付けるようにする。次にやってみたいことにも触れさせ、主体的な活動を継続していく。

6 教科等横断的思考スキル図



7 単元の指導計画と評価計画（全9時間扱い）

時	学習活動 ○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価規準 （評価方法） □指導上の留意点
1 ・ 2	<p>○夏休みの出来事を振り返り、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">夏を感じたものを発表しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・セミ取りをしたよ。 ・水鉄砲を使って遊んだよ。 ・プールに入ったよ。 ・夏祭りに行きたかったな。 ・金魚すくいをしたことがあるよ。 <p>○校庭に行って草花や虫探しなどをして、夏を感じながら楽しく遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汗がだらだら出るから、水を浴びたいよ。 ・ミストが気持ちよかった。 ・草がたくさん生えていたよ。 ・ねこの好きなねこじゃらしがあったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> □イメージマップ図にまとめ、自分と友達と比べながら話を聞けるようにする。 □帰りの会などで、草花や樹木、虫と関わった体験を取り上げ、日頃から身の回りの動植物を意識させておく。 □幼稚園や保育園のときの夏祭りを想起させ、どんな遊びをしたことがあるかも話題にする。 ◇動植物や風、光の特徴など、校庭の自然の様子に気付いている。 【行動観察・発言】（ア 知識及び技能の基礎） ◇校庭の自然に関わりたいという思いをもち、全身を使って夏の動植物や自然の特徴を探そうとしている。 【行動観察】（ウ 主体的に学習に取り組む態度） □発表に合わせて、関連する写真や児童の気付き、感じたことなどを『あおぞらマップ（夏）』に貼っていき、情報を共有する。
3	<p>○水を使ってどんな遊びをしたいか話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">夏の青空ランド ～水で遊ぼう～</div> <p>○安全面についての約束をつくる。</p> <p>○水を使って自由に遊ぶ。</p> <p>○友達と関わりながら、比べたり見立てたりしながら、遊びを広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルがじょうろみたいになるよ。 ・マヨネーズの入れ物に水を入れて押すと、ピューッと飛ぶよ。 ・アサガオの色水がきれいだったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> □遊ぶ場の写真を見せ、遊びをよりイメージしやすくする。 □意見をイメージマップ図にまとめて、活動意欲を高める。 □水遊びの材料を夏休み前に保護者へ知らせ、十分準備しておく。 □楽しく遊ぶために、必要な約束事を児童から出させ。「水を人にかけない。無駄遣いはしない。」などを全体で確認する。 □マヨネーズ容器やペットボトル、カップなど様々な材料を用いて、水で遊ぶ。 □活動する児童と対話して言語化することで価値付けたり、周りの児童へ広めたりする。 ◇水に浮かべる、流す、飛ばすなどしていろいろな遊びを繰り返し、水を使った遊びを楽しもうとしている。 【行動観察】（ウ 主体的に学習に取り組む態度）

	<p>○遊んで楽しかったこと、気付いたことを紹介し合い、もっとできそうなことを出し合う。</p>	<p>□材料に穴を開けたらもっと水を飛ばせそうなど、水でもっと楽しく遊べるように追及意欲を喚起する。</p>
<p>4 ・ 5 ・ 6</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 夏の青空ランド ～水遊びのおもちゃを作ろう～ </div> <p>○身近にある物でおもちゃを作る。</p> <p>○作って試して比べて遊ぶ活動を繰り返しながら、遊びや遊び方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴をいっぱい開けるとシャワーみたいに水がたくさん出たよ。 ・マヨネーズの入れ物は、強く押すと遠くまで飛んだよ。 	<p>□作りたいものをエリアチャート図にまとめ、迷っている児童に参考にさせる。</p> <p>□もっと遠くまで飛ばしたい、もっと楽しくしたいという思いや願いを実現させるにはどうすればよいかを出させることで、工夫する点に目を向けさせる。</p> <p>工夫する点：作り方（穴の数や大きさ、材料の素材、大きさ）押し方、遊び方など</p> <p>□遊ぶ場所や改良コーナー、集合場所、使う水道などを決めておく。熱中症予防のため、帽子着用や水分補給に留意し、指導する。シャボン液の扱い方にも配慮する。</p> <p>□教室の中に、図書資料や教師がつくったおもちゃを置き、自由に見たり手に取ったりさせる。</p> <p>◇これまでの経験から、自分のおもちゃの動きや遊び方を想像し、いろいろな遊びを楽しんでいる。</p> <p>【発言・行動観察】（イ 思考力、判断力、表現力等の基礎）</p> <p>□一人一人の気づきを全員で共有し、次時への意欲を高めていく。</p> <p>◇夏の自然と関わりたいという思いをもち、いろいろな遊びを繰り返し、夏の自然を楽しもうとしている。</p> <p>【行動観察・発言】（ウ 主体的に学習に取り組む態度）</p>

<p>7 (本時)</p>	<p>○活動を振り返り、工夫や気付きを伝え合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 夏の青空ランド ～もっと楽しく遊ぶために、遊びを紹介し合おう～ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のおもちゃは、穴をたくさん開けているから水が遠くまで飛ぶんだなと思いました。 ・ 的を作って点数をつけてゲームをしたら、もっと楽しくなりそうです。 ・ 友達のヨットで遊んでみたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 作ったおもちゃを見せ合い、自分と友達のおもちゃを比べるようにする。 □ 3人グループでおもちゃを紹介し合い、その後、全体で話し合うことで、友達のおもちゃのよさを見付け、伝えやすくする。 ◇ 自分が作ったおもちゃや遊びや工夫したこと、遊びの楽しさなどを伝え合おうとしている。 【発言・作品】(ウ 主体的に学習に取り組む態度) ◇ 友達におもちゃを紹介し、自分と比べておもちゃや遊び方のよさを見付けることができる。 【発言・行動観察】(イ 思考力、判断力、表現力等の基礎)
<p>8 ・ 9</p>	<p>○みんなで遊ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 夏の青空ランド ～みんなで遊ぼう～ </div> <p>○活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○さんと一緒に水を飛ばして楽しかったです。 ・ ○○さんが、やり方を教えてくれたので、できました。次は、家でも遊んでみたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 前時に紹介し合ったおもちゃを使って、みんなで遊ぶ。 □ 遊ぶ時間を十分保証し、遊ぶ場所も広げることによって活動への満足感を味わわせる。 □ 今までの活動を振り返りやすいように、『あおぞらマップ』や写真、記録カードなどを教室に掲示する。 ◇ 夏の自然の特徴を生かして遊ぶことの楽しさに気付いている。 【行動観察・発言】(ア 知識及び技能の基礎) ◇ 夏の自然を生かして自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとしている。 【発言・作品】(ウ 主体的に学習に取り組む態度)

7 本時の学習 (7/9時間)

(1) ねらい

- ・自分が作ったおもちゃのよいところ、工夫したところ、お気に入りのところなどを伝え合い、友達のおもちゃのよいところを見付けることができる。

(2) 展開

分	○主な学習活動 ・児童の反応	□指導上の留意点 ◇評価規準 (評価方法)
3	○本時の活動のめあてを確認する。	□次時に友達の作ったおもちゃで遊ぶために、紹介し合うことを伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>ともだちのおもちゃのよいところを見つけよう。</p> </div>		
15	○作ったおもちゃを紹介し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・水鉄砲を作ったよ。水をいっぱいまで入れて、真ん中を強く押すと、水が遠くまで飛んだよ。 ・牛乳パックで船を作ったよ。輪ゴムを使って、船が進むようにできたよ。 ・大きいシャボン玉を作りたかったんだけど、すぐに割れてできなかったよ。 ○はっけんカードを書く。	□できるだけ違うおもちゃや遊び方を考えている児童同士がグループになるようにする。 □話すポイントを確認する。 工夫した点、楽しい(アピールポイント)点など □聞くポイントを確認する。 遊んでみたいと思うおもちゃを見付ける。(おもちゃの工夫、遊び方の工夫) □友達のおもちゃのよいところをカードに書く。 ◇自分が作ったおもちゃや遊びや工夫したこと、遊びの楽しさなどを伝え合おうとしている。 【発言・作品】 (ウ 主体的に学習に取り組む態度)
15	○全体で話し合う。 ①友達のよいところを紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんのおもちゃは、穴をたくさん開けているから水が遠くまで飛ぶんだなと思いました。 ・〇〇さんのヨットで遊んでみたいです。くるくる回って動くみたいです。 ②自分のよいところを紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・的を作って点数をつけてゲームをすると、ただ水を飛ばすより楽しいです。 	□友達の作ったおもちゃのよさ、遊び方の工夫などを全体で紹介する。おもちゃを作った本人も、自分から皆によさを伝えられるようにする。 □小プールを用意し、タブレットで写しながらおもちゃを紹介する。
12	○あおぞらカードをかく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自分と友達のおもちゃを比べて思ったこと、考えたこと</p> </div>	□話し合ったことを基に、友達のよいところや自分のおもちゃに取り入れてみたいこと、遊び方の工夫などをカードにまとめる。 ◇友達におもちゃを紹介し、自分と比べておもちゃ

		や遊び方のよさを見付けることができる。 【発言・遊び方カード】 （イ 思考力、判断力、表現力等の基礎）
--	--	---

(3) 板書計画

ともだちのおもちゃのよいところをみつけよう。

<p>〈がくしゅうのながれ〉</p> <p>①おもちゃを しょうかいしあう。</p> <p>グループ ↓ はっけんカード ぜんたい</p> <p>②あおぞらカードをかく。</p> <p>おもったこと、かんがえたこと</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> あおぞらランドであそぶ ときにしたいこと </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> *はなすポイント くふうしたところ たのしいところ（アピールポイント） </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> *きくポイント おもちゃのよさ あそびかたのよさ </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> おもちゃのよさ </div> <hr/> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> あそびかたのよさ </div>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ○○さん とおくまでとぶ →あながたくさん </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ○○さん きれい →かざりをつけ </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> ○○さん まをつくる →ゲーム </td> <td style="padding: 5px;"> ○○さん ゴールをつくる →レース </td> </tr> </table>	○○さん とおくまでとぶ →あながたくさん	○○さん きれい →かざりをつけ	○○さん まをつくる →ゲーム	○○さん ゴールをつくる →レース
○○さん とおくまでとぶ →あながたくさん	○○さん きれい →かざりをつけ						
○○さん まをつくる →ゲーム	○○さん ゴールをつくる →レース						